記者発表資料

令和5年10月19日

道路の「縁石の雑草防止技術」普及拡大へ!!

～国土交通省・インフラメンテナンス国民会議 連携による実証実験～

道路の歩車道境界や中央分離帯の縁石に生える雑草は、交通視程障害や景観不良に加え、除草作業時の通過車両近接で危険を伴うことから、その効率的な対策が求められています。

施設管理者（市町村等）が抱えるインフラの維持管理に関する課題解決及びインフラメンテナンス技術の普及拡大に向け、国土交通省とインフラメンテナンス国民会議東北フォーラム※が連携し、「縁石の雑草防止技術」の実証実験を行います。

実証実験は、「縁石防草技術」開発者等の協力の下、自治体等を対象に、技術紹介やデモンストレーションを行うと共に、継続的に展示紹介・効果検証し、その情報を発信して参ります。

○ 開催日時　令和 5 年 10月 25日(水) 10:00～16:00

○ 開催場所　国土交通省東北地方整備局 東北技術事務所構内
（多賀城市桜木三丁目6－1）

○ 開催者(共同開催)
国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所
インフラメンテナンス国民会議 東北フォーラム ※別紙2参照

○ 次　第
10:00～　開会挨拶
インフラメンテナンス国民会議 東北フォーラムリーダー
国土交通省　東北技術事務所長
10:05～　縁石防草技術の概要説明・施工実演（全9技術を順次）
※　12:00～13:00 昼休憩
15:25～　閉会挨拶　フォーラム 企画委員長

○ 対象技術　別紙1参照

○ 受　　付　当日は9:30より受付を開始いたします。

○ 取材申込　取材をご希望される場合は、令和5年10月24日（火）12時までに別紙3取材申込用紙に必要事項を記入の上、メールにて送信願います。

※当日の気象条件等により施工実演を中止する場合は、東北技術事務所内で、各技術についての工法説明を実施いたします。

発表記者会 ： 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

【問合せ先】

＜実証実験について＞
国土交通省 東北地方整備局
東北技術事務所 副所長　川村 英弘
電話：022－365－8211（代表）

＜インフラメンテナンス国民会議について＞
インフラメンテナンス国民会議　東北フォーラム　事務局
㈱復建技術コンサルタント　遠藤 敏雄、後藤 和彦
電話：022－262－1234（代表）

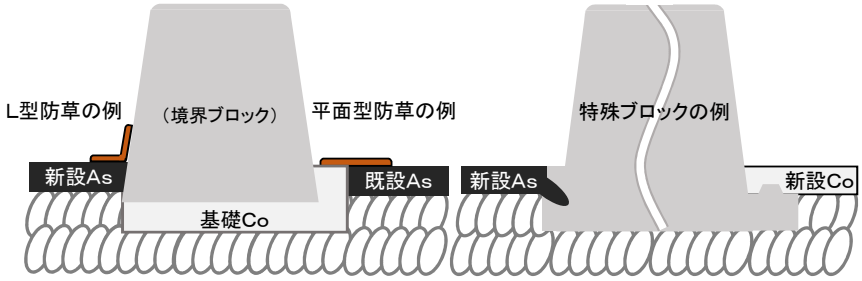
別紙１

国土交通省 東北技術事務所

境界ブロック目地部等の防草技術 展示について

- 歩車道境界等のブロック目地に発生する雑草は、交通視程不良･景観阻害･除草時の危険など 課題が山積。
- 効率的なインフラメンテナンス技術の普及の一環として、NETIS登録(R5.4現在)の「境界ブロック目地部の防草技術」を対象に 各防草技術の開発者等の協力の下、東北技術事務所構内において展示･検証。
- インフラメンテナンス全国会議東北フォーラムの実証実験との連携により、各自治体へも情報発信。

防草技術施工イメージ図(案)



防草技術の効果(例)

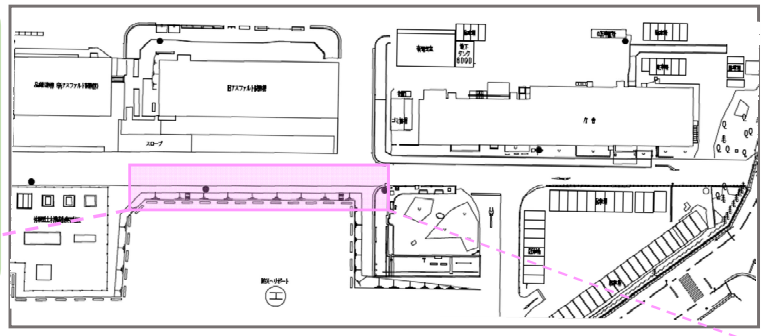


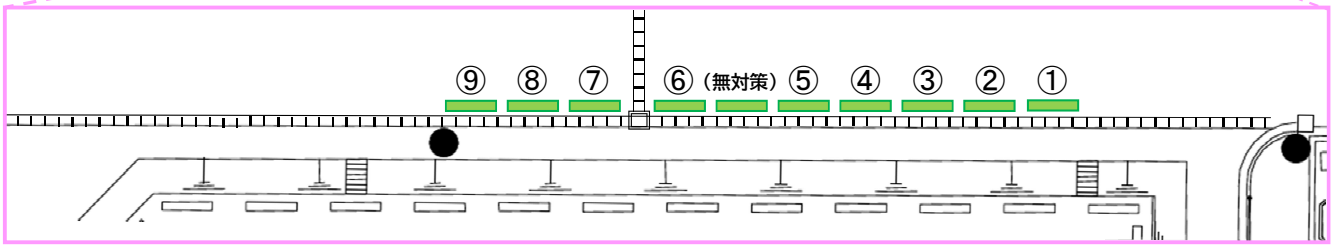
タイプ	No.	防草技術名	NETIS番号	企業等名
常温接着型	①	目地バール工法	CB-120027-VR	小泉製麻㈱
As溶着型	②	目地バリシートシリーズ	CB-060034-VG･HR-140006-VE	㈱白崎コーポレーション
	③	目地プロテクトシール	KK-070010-VG	谷口産業㈱
樹脂塗布型	④	ウィードコート工法	CB-080003-VG	ウィードコート工法協会
	⑤	ボーソーシールシリーズ	KT-170052-A･QS-980223-VG	シンレキ工業㈱
亜鉛イオン型	⑥	草ゼロプレート	CG-220017-A	早川ゴム㈱
特殊ブロック型	⑦	防草ブロック	CB-050041-VG	全国防草ブロック工業会
	⑧	雑草防止工法	KT-160069-VE	日本雑草防止工法研究会
	⑨	防草機能付きCo2次製品	CB-220010-A	松岡コンクリート工業㈱

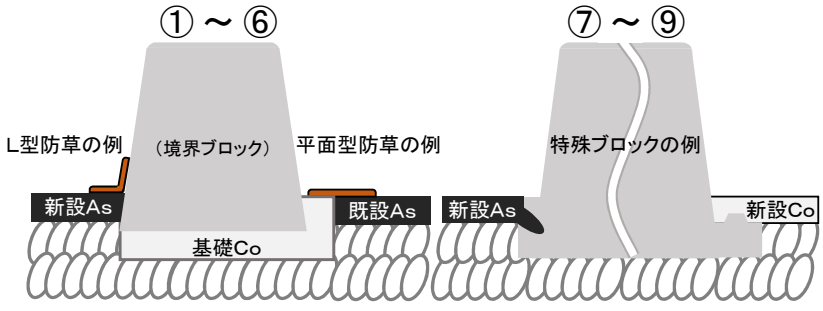
国土交通省 東北技術事務所

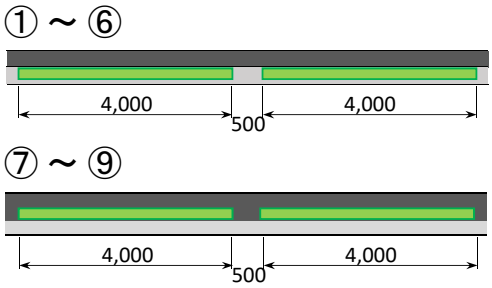
境界ブロック目地部等の防草技術 展示について

【場所】国土交通省 東北技術事務所構内
（多賀城市桜木3丁目６－１）
【日時】本施工：令和5年10月25日 10時～
準備工：令和5年10月13日～
【展示方法】
- 各防草技術毎に境界ブロック4.0m分を施工
- 各境界ブロック南側に 概要説明板を掲示
（技術名称･NETIS番号･提供者･技術概要
施工時間･施工費･適用上の留意事項 等）









別紙２

インフラメンテナンス国民会議
東北フォーラム

Japanese Congress for Infrastructure Management







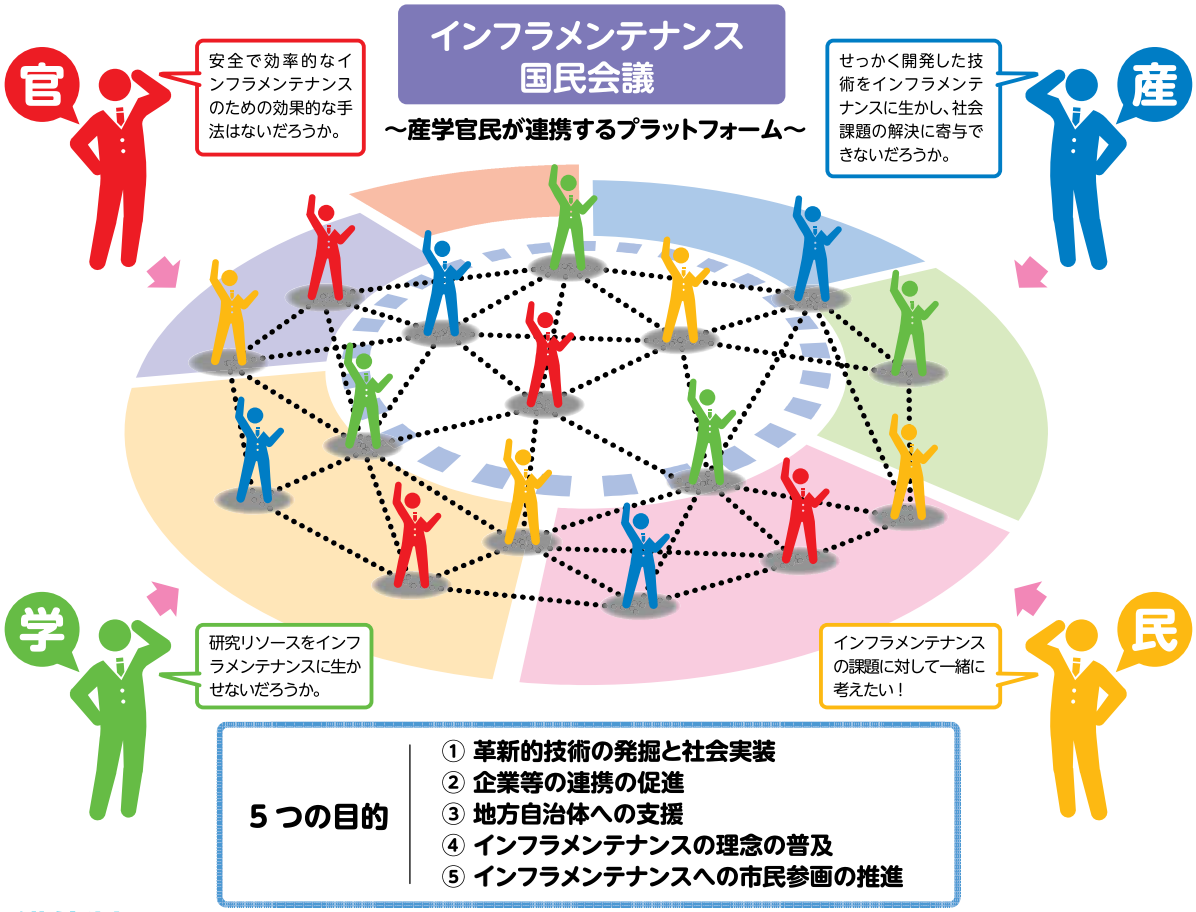


気仙沼湾横断橋(宮城県気仙沼市)

インフラメンテナンス国民会議 東北フォーラム

▶「インフラメンテナンス国民会議」とは

『インフラメンテナンス国民会議』は、インフラを良好な状態で持続的に活用するために、産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて、インフラメンテナンスの理念の普及、課題の解決及びイノベーションの推進を図り、活力ある社会の維持に寄与することを目的に平成28年11月に設立された組織です。



5つの目的

① 革新的技術の発掘と社会実装
② 企業等の連携の促進
③ 地方自治体への支援
④ インフラメンテナンスの理念の普及
⑤ インフラメンテナンスへの市民参画の推進

○組織体制

国（国土交通省および関係省庁）

支援

インフラメンテナンス国民会議

会　長：冨山 和彦　株式会社経営共創基盤代表取締役IGPIグループ会長 株式会社日本共創プラットフォーム（JPiX）代表取締役社長
副会長：家田　仁　政策研究大学院大学 特別教授

実行委員会

- 市区村町長会議
- 企画部会
- 広報部会

公認フォーラム

革新的技術フォーラム	自治体支援フォーラム	技術者育成フォーラム	市民参画フォーラム	海外市場展開フォーラム
オープンイノベーションによる異業種の連携や技術の融合、マッチング	自治体の課題解決自治体のニーズ・民間企業等のノウハウの情報交換	地域における技術者育成の活動を支援	インフラやメンテナンスへの関わりを深めるための実践活動を展開	海外への情報発信や海外展開案件形成

地方フォーラム（全国10ブロック）

北海道フォーラム	東北フォーラム	関東地方フォーラム	北陸インフラメンテナンスフォーラム	中部フォーラム
近畿本部フォーラム	「ちゅうごく」（中国フォーラム）	四国地方フォーラム	九州フォーラム	沖縄フォーラム

○国民会議会員となるメリット

国民会議では、企業、研究機関、施設管理者（市町村等）、市民団体等の会員がそれぞれ享受できるメリットを最大化する運営を行います。

民間企業

- ●インフラメンテナンスや国民会議の最新動向の情報を得ることができます。
- ●施設管理者等の実情やニーズについての情報を得ることができます。
- ●施設管理者や他の企業等に自社の技術や製品、サービスを知っていただくことができます。
- ●新たなビジネスチャンスやビジネスパートナーを発掘することができます。

市民団体等

- ●他の団体との交流及び活動企画の機会を得ることができます。
- ●行政の最新動向の情報を得ることができます。
- ●市民自らインフラの維持管理・更新に参画する機会を得ることができます。

施設管理者（市町村等）

- ●最新の技術や新たな取り組みの試行を行うモデル自治体として国や企業等からメンテナンスの支援が受けられます。
- ●アドバイザー等からの専門的アドバイスが受けられます。
- ●自治体職員が最新のメンテナンス技術を学べる研修を受講できます。（東北フォーラムは東北自治研修所との連携協定締結予定）
- ●先端的なメンテナンスの取り組みを行う自治体等の情報が得られます。
- ●最新のメンテナンス技術の情報を得られます。

○市区町村長会議の設立

- ●メンテナンスに高い関心を有する市区町村長で構成する「インフラメンテナンス市区町村長会議」が令和4年4月に設立しました。それを受け、岩手県宮古市において「第１回 東北ブロック 市区町村長会議」を開催しました。
- ●市区町村長会議の設立により、首長同士の意見交換による、メンテナンスに関する知見や意識の向上、トップダウンによるインフラメンテナンスの強力な推進が期待されます。
- ●東北フォーラムと市区町村長会議の連携により更なるインフラメンテナンスの推進が期待されます。

東北ブロック運営体制

●ブロック幹事	岩手県宮古市長		
●企 画 委 員	青森県八戸市長	宮城県白石市長	秋田県秋田市長
	山形県山形市長	福島県南相馬市長	

※東北では、144自治体の首長が構成員として参画（R5.3.31時点）



▲石川リーダーによる講演



▲石川リーダーを交えた意見交換会の様子



▲閉会後の記念写真

▶東北フォーラムの活動

東北フォーラムは、インフラを良好な状態で持続的に活用することを目指し、平成30年4月27日に設立されました。産学官民が一丸となってメンテナンスに取り組む社会の実現に向けて、活動してまいります。



フォーラムリーダー　石川　雅美
（東北学院大学工学部教授）

○活動の目標

東北の自治体で構成される「インフラメンテナンス市区町村長会議（東北ブロック）」と連携して、自治体が抱えるインフラの維持管理に関する課題に取り組み、解決することを目的としています。

民間企業が有する技術（シーズ）と東北の自治体から寄せられたニーズとを結びつけるマッチングイベントや実証実験などを通じて、東北のインフラの効率的な維持管理に貢献したいと考えております。

○活動イメージ



○東北フォーラム推進体制

フォーラムリーダー 石川　雅美（東北学院大学工学部）

企画委員長　遠藤　敏雄（㈱復建技術コンサルタント）

企画委員

地域担当

青森	小笠原　光博（㈱福萬組） **準企画委員**　㈱フジタ青森総合営業所 青森県測量設計コンサルタント協会	岩手	新銀　武 （㈱中央コーポレーション） **準企画委員**　岩手県測量設計業協会	宮城	宮本　圭司（戸田建設㈱） **準企画委員** 宮城県測量設計業協会
秋田	小野　泰太郎（㈱小野建築研究所） **準企画委員** 秋田県県土整備コンサルタンツ協会	山形	河野　正和（東亜道路工業㈱） **準企画委員**　東亜道路工業㈱山形工場 山形県測量設計業協会	福島	野木　雄治（㈱小野工業所） **準企画委員** 福島県測量設計業協会

ロードマップWG

林　昭宏（㈱フジタ）　阿部　裕彰（鹿島建設㈱）
河野　正和（東亜道路工業㈱）　石倉　武幸（東急建設㈱）

マッチングイベント担当

金子　雅明（パシフィックコンサルタンツ㈱）
阿部　亮介（ニチレキ㈱）　中村　寛（東亜道路工業㈱）
宮本　圭司（戸田建設㈱）

事務局　後藤　和彦（㈱復建技術コンサルタント）
高橋　秀輔（戸田建設㈱）

事務局支援　東北地方整備局　企画部

支援団体

（一社）日本建設業連合会東北支部
東北建設業協会連合会
（一社）東北測量設計協会
（一社）青森県測量設計コンサルタント協会
（一社）岩手県測量設計業協会
（一社）宮城県測量設計業協会
（一社）秋田県県土整備コンサルタンツ協会
（一社）山形県測量設計業協会
（一社）福島県測量設計業協会
（一社）東北地域づくり協会
（一財）みちのく創生支援機構

○東北フォーラム活動概要

東北フォーラムではインフラメンテナンスに関するマッチングイベント、実証実験、講習会などを実施し、民間企業と自治体への話題提供や情報共有の促進を目指した活動を行っています。

○東北フォーラム主催 マッチングイベントの開催

東北フォーラムでは各自治体が抱えるインフラメンテナンスに関するニーズ（課題や悩み）の解決の糸口とすべく、企業が所有するシーズなどを紹介するマッチングイベントを開催しております。

マッチングイベントではシーズの紹介だけではなく、先進事例の紹介や学識者による講演なども行っています。

過去5年間で開催したマッチングイベントの中から直近3年間のイベントを以下の通り紹介します。

01 マッチングイベント in宮古（令和4年度）

日　時　2022年12月20日（火）10:00～12:30

場　所　宮古市市民交流センター 多目的ホール

参加者　約110名（内訳：行政会員、団体会員、企業会員等）



▲イベント会場の様子



▲WEB配信の状況

プログラム

■挨拶　石川　雅美（東北学院大学教授、フォーラムリーダー）
■講演　『復興道路・復興支援道路のコンクリート構造物の長寿命化に向けた実践的取組み』小山田　哲也（岩手大学　理工学部　准教授）
■ニーズ紹介
■シーズ紹介　【建築分野】　・長寿命化計画策定の役立つ防水について
【土木分野】　・港湾構造物、河川、護岸、堤防等の水中部及び気中部の点検　・中小河川の維持管理技術
・濁水下における水中構造物の点検技術　・港湾構造物の維持更新トータル技術　・橋梁の鋼材及び鉄筋の破断を非破壊検査する技術

02 マッチングイベント in仙台（令和4年度）

日　時　2022年5月25日（水）14:00～17:00

場　所　TKPガーデンシティ仙台 ホール30B

参加者　約150名（内訳：行政会員、団体会員、企業会員等）



▲イベント会場の様子



▲WEB配信の状況

プログラム

■挨拶　石川　雅美（東北学院大学教授、フォーラムリーダー）
■講演　『インフラメンテナンスに関する取組の現状』（国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課）
■ニーズ紹介
■シーズ紹介　【建築分野】　・外壁点検について
【土木分野】　・AIやドローン、3Dモニタリングによる橋梁点検業務及び橋梁補修設計の支援技術
・社会インフラ管理プラットフォーム　・手軽に撮影した画像やドライブレコーダーの映像から道路施設の点検を効率的に行う技術
・MMS活用による道路施設の点検及びクラウド活用による維持管理促進技術　・道路付属物の効率的なメンテナンスサイクル支援技術

03 マッチングイベント in郡山（令和3年度）

日　時　2021年12月15日（水）14:00～17:00

場　所　ビッグパレットふくしま 中会議室

参加者　約110名（行政会員、団体会員、企業会員等）



▲イベント会場の様子

プログラム

■挨拶　石川　雅美（東北学院大学教授、フォーラムリーダー）　猪股　慶藏（福島県土木部長／代読：矢澤 敏幸 土木部土木企画課長）
■基調講演　『ふくしまの地から考える 2050 年に向けた地方インフラのあり方』岩城　一郎（日本大学工学部 教授）
『国交省におけるインフラメンテナンスの取組紹介・意見交換』松本　一城（国土交通省 総合政策局 調整官）
■ニーズ紹介
■シーズ紹介　【建築分野】・床の補強方法について【土木分野】・アスファルト舗装の長寿命化技術・橋梁床版に超高強度補修材料を適用
・ひび割れ点検を、スピーディーに、正確に行う技術・特殊橋梁の橋梁点検・ため池の維持管理手法

04 マッチングイベント in仙台（令和2年度）

日　時　2020年12月17日（木）14:00～16:40

場　所　宮城県仙台市　東北地方整備局よりオンライン配信

参加者　約100名（内訳：行政会員、団体会員、企業会員等）



▲WEB配信の状況

プログラム

■挨拶　石川　雅美（東北学院大学教授、フォーラムリーダー）
■活動報告　■基調講演（先進事例紹介）　中山間地域道路等維持補修業務委託について 伴野　史典（福島県　宮下土木事務所長）　■ニーズ調査報告
■シーズ紹介【建築分野】・建物の点検診断・維持管理について【土木分野】・ひびわれ点検と補修方法について・急勾配砕石道路における流出防止方策について
・橋梁の点検技術について・不可視部分の点検手法について・AIとi-con技術を活用した河川維持管理について

○実証実験（第1号案件）

令和４年11月に、今まで頂いたニーズのなかで、「砂利道における砕石流出対策」について、宮城県白石市からフィールドをご提供いただき、東北フォーラムとして初の実証実験（第1号案件）を実施しました。

日　　時	2022年11月14日（月）13:00～16:00
場　　所	宮城県白石市小原地内
参　加　者	約50名（内訳：行政会員、企業会員等）
プログラム	■挨拶　石川　雅美（東北学院大学 教授、フォーラムリーダー） 菊地　正昭（白石市　副市長） ■シーズ技術の概要説明・施工 ①砕石流出防止対策について　②砕石流出の補助工法について



▲石川リーダー挨拶



▲白石市 菊地副市長 ご挨拶

ニーズ（課題）

市道に接する林道から、大雨の際に砕石が流出するため対策を行いたい。

（他多数の自治体より同様のニーズ有り（青森県五戸町、岩手県一関市等））

シーズ

ニーズに対し3社4技術のシーズ（砕石流出対策及び砕石流出の補助工法）がマッチング。

施工前の降雨時の砕石流出状況





見学の様子





シーズの施工状況



仮排水路（TU水路）



仮排水路（シスイエース）



舗装工（改質アスファルト乳剤）



舗装工（カタマSP）

実証実験施工動画は QRコードから!

※東北フォーラムでは、
2～3年間現場の経過観察を行います。

○東北フォーラムの活動をPR

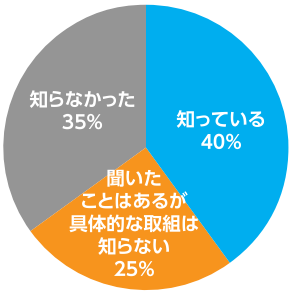
EE東北'22へ初出展

行政、企業、市民へ東北フォーラムの活動をPRするために、EE東北'22への出展を初めて行いました。

展示ブースでは、東北フォーラムの紹介パネルや映像を通じて活動や取組を紹介するとともにインフラメンテナンス国民会議への勧誘活動を行いました。

PR活動と併せて、来場者へインフラメンテナンスに関するアンケート調査を実施しました。

「インフラメンテナンス国民会議」を知っていますか



※アンケート調査結果より

日　　時	2022年6月1日(水)、2日(木)
場　　所	夢メッセみやぎ
参 加 者	約150名(アンケート実施数)



ブースの設営状況



ブース来場者へのPR活動の様子

ブース来場者からの意見等

- ●このような取り組みがあることを知らなかった。今後、**技術者不足に陥る自治体は更に増えてくると思うので活動の広がりに期待したい。**(企業)
- ●自治体としてはマッチングイベント等で**最新技術についての情報を得られる機会があり有意義。**(行政)
- ●道路や橋梁のメンテナンスが主となっているので、**水道管理についてのシーズも提供してほしい。**(行政)
- ●**企業会員にもメリットは多い。加入を検討したい。**(企業)
- ●行政会員に加入しているので、**マッチングイベントなどを有効活用していきたい。**(行政)

Topics

インフラメンテナンス大賞

○概要・目的

日本国内のインフラのメンテナンスに係る優れた取り組みや技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに係る取り組みを促進し、メンテナンス産業の活性化と、インフラメンテナンスの理念の普及を図るため、関係8省庁の主催で実施されています。

		インフラメンテナンス大賞
1	主催者	国土交通省・総務省・文部科学省・厚生労働省 農林水産省・防衛省・経済産業省・環境省
2	表彰時期	毎年
3	表彰対象	インフラメンテナンスにかかる特に優れた取組・技術開発
4	審査方法	選考委員会で審査
5	表彰の種類	各省大臣賞／特別賞／優秀賞

○表彰対象
- ・メンテナンス実施現場における工夫部門
- ・メンテナンスを支える活動部門
- ・技術開発部門

※国民会議では、本大賞と連携し、受賞案件をベストプラクティスとして広く紹介することで相互に取組の活性化を目指しています。



▲第6回インフラメンテナンス大賞 受賞概要
(受賞団体:岩手県県土整備部道路環境課)

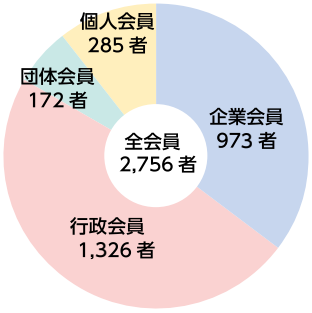
詳細はWEBから　インフラメンテナンス大賞　検索

▶活動の拡がり

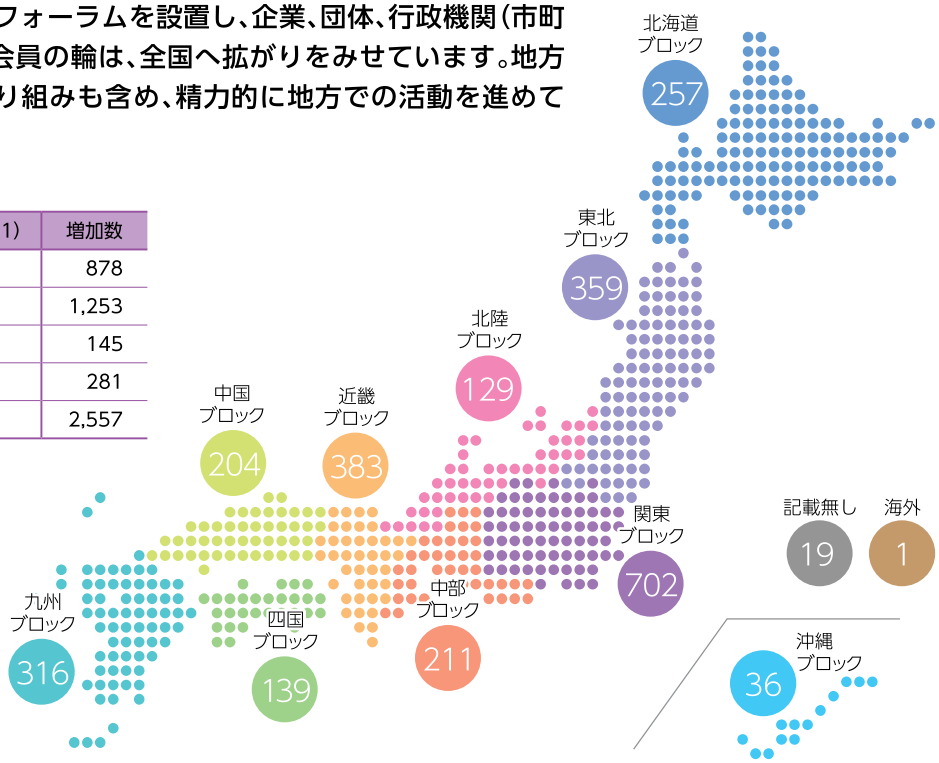
全国の10ブロックにおいて地方フォーラムを設置し、企業、団体、行政機関（市町村等）、又は個人による国民会議の会員の輪は、全国へ拡がりをみせています。地方特有の課題を踏まえた特色ある取り組みも含め、精力的に地方での活動を進めています。

●参加会員内訳（R5.3.31）

会員種別	設立時（H28.11.28）		現在（R5.3.31）	増加数
企業会員	95	▶	973	878
行政会員	73	▶	1,326	1,253
団体会員	27	▶	172	145
個人会員	4	▶	285	281
計	199	▶	2,756	2,557



会員内訳（R5.3.31）



●地方ブロック毎　会員数内訳（令和5年3月31日時点）

会員種別	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	海外	記載無し	合計
企業会員数（本社ベース）	59	113	362	50	81	124	65	32	72	14	1		973
行政会員数	180	199	159	62	101	192	112	91	213	17			1,326
団体会員数（連絡先ベース）	3	20	73	9	12	22	9	8	12	4			172
個人会員数（連絡先ベース）	15	27	108	8	17	45	18	8	19	1		19	285
合計	257	359	702	129	211	383	204	139	316	36	1	19	2,756

●自治体（市町村等）の皆様が抱えるインフラに関する課題解決のため「インフラメンテナンス国民会議」に是非、ご入会ください。

入会方法（会費無料）

インフラメンテナンス国民会議 で検索頂き、会員申込のページから入会申込書をダウンロード頂き必要事項をご記入の上、事務局まで送付下さい

※フォーラムイベント、会員の取組等をホームページでお知らせしています。
※会員向けにメールで情報発信をしています。

（インフラメンテナンス国民会議ウェブサイト トップページ）



インフラメンテナンス国民会議事務局

●国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課
TEL:03-5253-8111（内線24563、24535）　直通 03-5253-8912　Email:hqt-jcim-sogo@gxb.mlit.go.jp

●国土交通省 大臣官房 公共事業調査室
TEL:03-5253-8111（内線24296）　直通 03-5253-8258

問合せ　インフラメンテナンス国民会議東北フォーラム事務局

事務局　㈱復建技術コンサルタント TEL:（代表）022-262-1234　担当:後藤
事務局支援　東北地方整備局 企画部 企画課地方計画係 TEL:022-225-2171（内線3237）Email:thr-tohoku-f@mlit.go.jp
東北フォーラムHP:https://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00097/k00360/inhuramente/inhuramentetohoku.html

本事業は、（一財）みちのく創生支援機構の助成を受けています。

（R5.3時点版）

別紙３

「縁石の雑草防止技術」の実証実験
取材申込用紙

取材を希望される報道機関は、以下の必要事項を記入し申し込みをお願いします。

申し込み先：東北地方整備局　東北技術事務所
申し込み方法：mail：thr-tougi02@mlit.go.jp
申し込み期限：令和５年 10 月 24 日（火）12 時

会社名	
氏名（代表者）	
連絡先（電話番号）	
人数（代表者含む）	人
テレビカメラの有無	
（有の場合）台数	台